

週刊 建機新報

発行所 **株式会社 建設機械新報社**
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-46(斎藤ビル4F)
 ☎(03)3293-7173 FAX(03)3293-7137
 E-mail web@kenki-shinpou.com
 編集・発行人 吉田 隆史
 発行日 毎週水曜日発行
 購読料 年間7万円(税・送料込み)
 [禁無断転載・翻訳]

No. 2101



INDEX

<http://www.kenki-shinpou.com/>



建機工、「需要予測結果」をまとめ記者発表 2020年度上下期、2021年度上下期の 4期調査

- ◆2020年度の出荷金額は1兆8,478億円と予測
- ◆2021年度の出荷金額は1兆9,433億円と予測

- ★【建設機械需要予測】(2020年度予測) 4
上期見込、下期予測、年度予測
- ★【建設機械需要予測】(2021年度予測) 4
上期予測、下期予測、年度予測
- ★《需要予測1》本体出荷金額(年度ベース) 5
建設機械本体出荷金額の推移(年度)
- ★《需要予測2》本体出荷金額(半期比較) 5
建設機械本体出荷金額(半期比較)
- ★《建設機械機種別出荷金額の推移》 5
1990年度～1919年度
2020年度予測、2021年度予測
- ★《建設機械出荷金額推移》2007～2021年(年度) 5
2007年度～2019年度
2020年度予測、2021年度予測
- ★《仕向先別出荷金額推移(構成比)》 5
2007年度～2019年度(参考)
- ★《仕向先別出荷金額推移(構成比)》 5
◇国内
◇アジア(中国除く)
◇中国
◇オセアニア
◇中近東(含エジプト)
◇欧州
◇アフリカ
◇北米
◇中南米
◇CISその他東欧
- ★前田製作所、かにクレーンの完全電動仕様 7
「MC285CB-3(バッテリー仕様)」を発売
- ★DRONE FUNDがイスラエルのCivdronerに出資を決定 7～8
ドローンの建設・土木現場作業の効率化に貢献へ
- ★ICT活用工事セミナー「ホルナビ塾」を開講 8
コベルコ建機、ウェビナー全6種類、ほか
- ★ 酒井重工、2021年3月期第1四半期の連結業績 9～11
売上高45億6,000万円(前年同期比14.4%減)

【経営成績に関する説明】
 【連結地域区分別売上高状況】

【セグメントの業績】
 (日本)
 (海外)

【財政状態に関する説明】
 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

- ★コマツ、2020年9月1日付「人事異動」を実施 11
「新職」、「継続職」、「氏名」(6名)の紹介
- ★ 日立建機、2021年3月期第1四半期の連結業績 13～16
売上収益1,701億5,700万円(前年同期比△27.5%)
【経営成績に関する説明】
【各セグメントの業績】
①建設機械ビジネス
②ソリューションビジネス
【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】
【財政状態に関する説明】
- ★ダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを推進 16
Caterpillar、女性エンジニアの育成に注力
- ★トビー工業、SQEP最高位認証を8年連続で取得 16
米国キャタピラー社から、2部門で評価



「2020年6月<建設機械>生産実績」 —経産省—

18

当月の建機合計生産金額は
1,515億3,700万円(前年同月比21.2%減)

★「2020年6月<建設機械>販売実績・在庫実績」 19
当月の建機合計販売金額は
1,395億6,400万円(前年同月比23.9%減)

★ <建設機械>生産台数・生産金額 /
販売台数・販売金額推移(月次)【グラフ】 19～22

- ◇ミニショベル
- ◇油圧ショベル
- ◇クレーン(トラック/ラフテレーン)
- ◇クローラクレーン
- ◇ローラ
- ◇平板式締めめ機械
- ◇コンクリート機械
- ◇基礎工事用機械(バースマシンを除く)
- ◇破砕解体機
- ◇フォークリフト(蓄電池式)
- ◇フォークリフト(内燃機関式)
- ◇ショベルトラック
- ◇車両搭載形クレーン
- ◇ベルトコンベヤ



《一般社団法人 日本建設機械工業会「会長記者会見」の様相(去る8月26日(水)に実施)》
 【於：経団連会館4階 ダイヤモンドルーム】

ARAI KENKI TENDER AUCTION

— 建機入札会 —

10.6 (TUE)
START

搬入開始日 9月25日(金)



毎週火曜日開催

アライ建機オークション

Arai Construction Equipment Auction

出品機展示場

〒323-0827 栃木県小山市神鳥谷2259-9
☎0285-39-8818

セリ会場

〒329-0201 栃木県小山市粟宮548
☎0285-45-1555

<https://www.araiace.jp/>

アライ建機

検索

ワクワクで、次の100年を創る



建機工、「需要予測結果」をまとめ記者発表

2020年度上下期、2021年度上下期の4期調査

一般社団法人 日本建設機械工業会【CEMA】(会長：数見保暢氏)は、本年7月時点で正会員である建設機械メーカー63社を対象に実施した「需要予測結果」をまとめ記者発表した。

予測期間とした2020年度上下期と2021年度上下期の4期に関して、建設機械を9機種に区分し、国内および海外への「出荷金額」をアンケート方式により予測調査したもので、今回で58回目の調査となる。

〔国内出荷〕

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、上期計では建設用クレーンの前年同期比15%減少を始め8機種が減少し、4,131億円(前年同期比9%減少)となると見込まれる。下期は、主力機種である油圧ショベル、ミニショベル等が回復するも、下期計では、4,341億円(前年同期比2%減少)と予測している。

この結果、2020年度合計では、8,472億円(前年同期比5%減少)となり3年振りに減少すると予測している。2021年度は、土工系機械は増加するものの、住宅投資及び民間設備投資の落ち込みにより建築系機械が減少すると予測され、上期計では、4,059億円(前年同期比2%減少)、下期計では、4,360億円(前年同期並み)と予測している。

この結果、2021年度合計では、8,419億円(前



■記者発表を行う会長の数見保暢氏

年同期比1%減少)となり、2年連続の減少と予測している。

〔輸出〕

2020年度は、国内と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全9機種が減少し、上期計では5,159億円(前年同期比28%減少)と見込まれる。下期は、減少幅は縮小するものの回復には至らず、下期計では、4,847億円(前年同期比14%減少)と予測している。

この結果、2020年度合計では、1兆0,006億円(前年同期比22%減少)となり、2年連続で減少すると予測している。2021年度は、3大輸出先(北米、欧州、アジア)を中心に増加すると予測し、上期計では5,711億円(前年同期比11%増加)、下期計では5,303億円(前年同期比9%増加)と予測している。

この結果、2021年度合計では、1兆1,014億円(前年同期比10%増加)となり、2年振りの増加と予測している。

【需要予測結果の概要】

注) 補給部品は含まず

		今回予測(本年8月)		前回予測における 前年同期比 (本年2月)(%)	
		金額(百万円)	前年同期比(%)		
2020年度	上期見込	国内	413,100	91	93
		輸出	515,900	72	95
		合計	929,000	79	94
	下期予測	国内	434,100	98	103
		輸出	484,700	86	100
		合計	918,800	92	101
合計予測	国内	847,200	95	98	
	輸出	1,000,600	78	97	
	合計	1,847,800	85	97	
2021年度	上期予測	国内	405,900	98	
		輸出	571,100	111	
		合計	977,000	105	
	下期予測	国内	436,000	100	
		輸出	530,300	109	
		合計	966,300	105	
合計予測	国内	841,900	99		
	輸出	1,101,400	110		
	合計	1,943,300	105		

(一社)日本建設機械工業会による

【建設機械 需要予測】

[2020年度 予測]		上段:金額 百万円 下段:対前年同期比指数 %								
		上期見込			下期予測			年度予測		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	
トラクタ	46,600	65,000	111,600	66,800	47,200	114,000	113,400	112,200	225,600	
	86	78	81	100	86	94	94	81	87	
油圧ショベル	137,800	236,500	374,300	147,400	221,700	369,100	285,200	458,200	743,400	
	96	68	76	106	88	94	101	76	84	
ミニショベル	43,000	95,400	138,400	41,300	94,300	135,600	84,300	189,700	274,000	
	94	77	82	103	88	92	98	82	86	
建設用クレーン	91,000	30,600	121,600	81,500	35,000	116,500	172,500	65,600	238,100	
	85	72	81	89	82	87	87	77	84	
道路機械	18,400	8,800	27,200	22,400	9,600	32,000	40,800	18,400	59,200	
	104	78	94	100	98	99	102	87	97	
コンクリート機械	14,500	600	15,100	13,400	400	13,800	27,900	1,000	28,900	
	91	79	90	90	79	90	90	78	90	
基礎機械	19,600	2,400	22,000	16,400	1,600	18,000	36,000	4,000	40,000	
	89	82	88	87	82	87	88	83	88	
油圧ブレード 油圧圧砕機	9,500	3,000	12,500	8,700	3,200	11,900	18,200	6,200	24,400	
	90	72	85	86	71	82	88	72	83	
その他建設機械	32,700	73,600	106,300	36,200	71,700	107,900	68,900	145,300	214,200	
	88	72	76	96	82	86	92	77	81	
合 計	413,100	515,900	929,000	434,100	484,700	918,800	847,200	1,000,600	1,847,800	
	91	72	79	98	86	92	95	78	85	

【建設機械 需要予測】

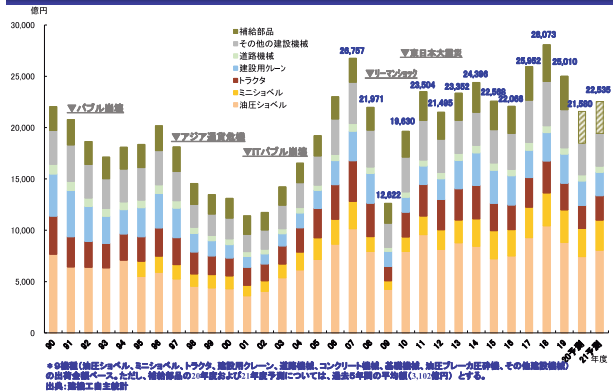
[2021年度 予測]		上段:金額 百万円 下段:対前年同期比指数 %								
		上期予測			下期予測			年度予測		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	
トラクタ	47,500	71,500	119,000	68,800	50,000	118,800	116,300	121,500	237,800	
	102	110	107	103	106	104	103	108	105	
油圧ショベル	140,600	267,200	407,800	153,300	246,100	399,400	293,900	513,300	807,200	
	102	113	109	104	111	108	103	112	109	
ミニショベル	44,700	102,100	146,800	43,800	101,800	145,600	88,500	203,900	292,400	
	104	107	106	106	108	107	105	107	107	
建設用クレーン	82,800	33,000	115,800	75,800	36,400	112,200	158,600	69,400	228,000	
	91	108	95	93	104	96	92	106	96	
道路機械	18,400	8,800	27,200	22,400	10,100	32,500	40,800	18,900	59,700	
	100	100	100	100	105	102	100	103	101	
コンクリート機械	13,100	500	13,600	12,300	300	12,600	25,400	800	26,200	
	90	83	90	92	86	91	91	80	91	
基礎機械	17,200	1,900	19,100	15,300	1,400	16,700	32,500	3,300	35,800	
	88	81	87	93	87	93	90	83	90	
油圧ブレード 油圧圧砕機	8,600	2,900	11,500	8,100	3,200	11,300	16,700	6,100	22,800	
	90	97	92	93	100	95	92	98	93	
その他建設機械	33,000	83,200	116,200	36,200	81,000	117,200	69,200	164,200	233,400	
	101	113	109	100	113	109	100	113	109	
合 計	405,900	571,100	977,000	436,000	530,300	966,300	841,900	1,101,400	1,943,300	
	98	111	105	100	109	105	99	110	105	

出典:(一社)日本建設機械工業会

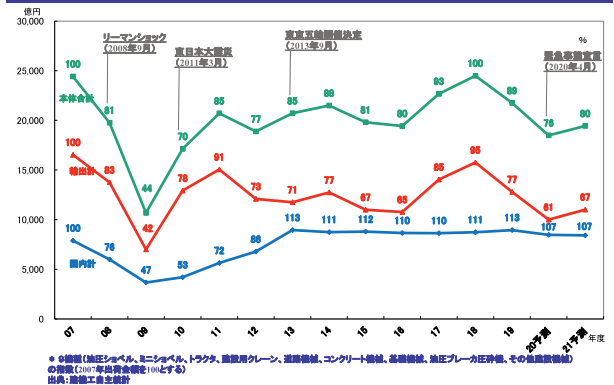


〈写真左〉
内田 運営委員長【住友建機(株)】
〈写真右〉
井上 専務理事【建機工 (CEMA)】

建設機械種別出荷金額の推移



建設機械出荷金額推移:2007~2021年(年度)

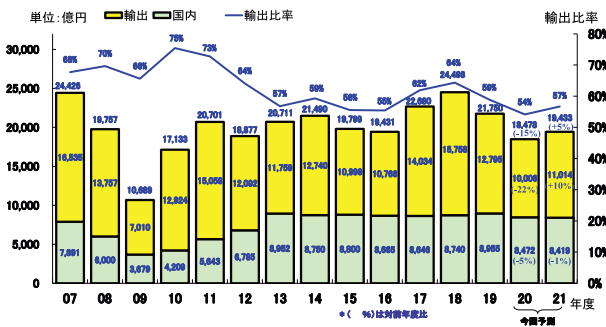


需要予測1:本体出荷金額(年度ベース)

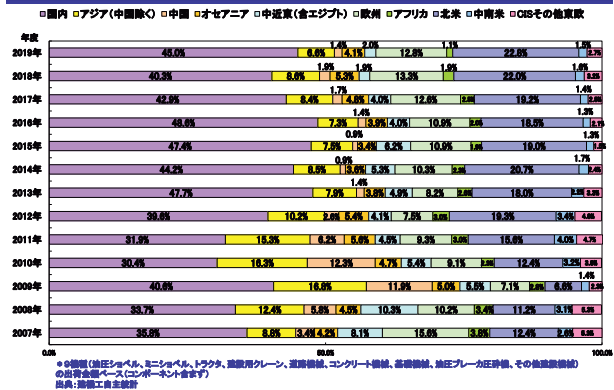


建設機械本体出荷金額の推移(年度)

20年度は新型コロナウイルスの影響で減少。21年度は輸出が回復し増加。



仕向先別出荷金額推移(構成比):2007~2019年度(参考)

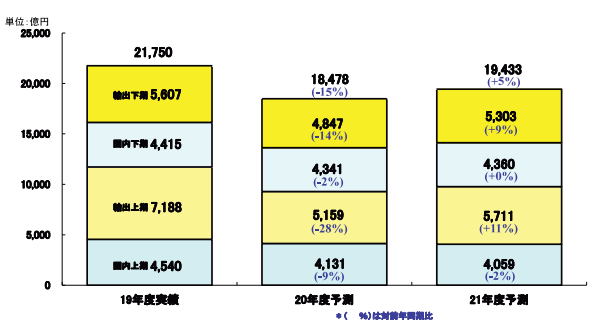


需要予測2:本体出荷金額(半期比較)

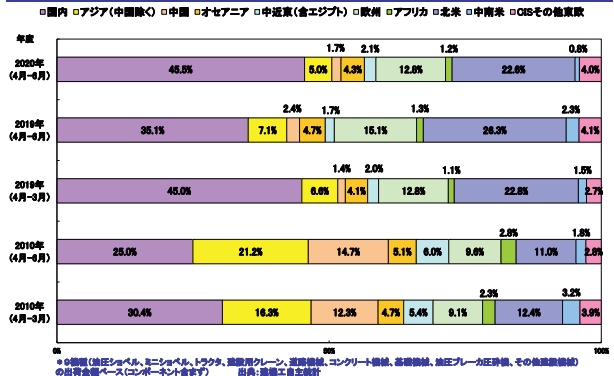


建設機械本体出荷金額(半期比較)

20年度は国内・輸出ともに減少。21年度は国内微減、輸出は増加。



仕向先別出荷金額推移(構成比)



KOBELCO

あなたは二度、新体感する。

Performance X Design
sk75SR

Performance × Designは、
コベルコが挑む新SKシリーズコンセプト。
ユーザーが求める生産性、安全性を飛躍的に高めること。
ユーザーが体感できる快適性、デザイン性を極めること。異なる
2つの革新が高い次元で融合されることで、新型SK75SRが誕生しました。

エンジン出力*	登坂走行性能*	アーム掘削速度*	NETIS登録
28%up	26.9%up	15%up	iNDR Integrated Noise & Dust Reduction Control System

※SK75SR-3E型機比数値は条件により変動します。

コベルコ建機株式会社 お問い合わせ 03-5789-2111

SK 75SR



前田製作所、かにクレーンの完全電動仕様

「MC285CB-3(バッテリー仕様)」を発売

(株)前田製作所(社長:塩入正章氏)は、主力商品である2.82tクラスのかにクレーンで、完全電動仕様の「MC285CB-3(バッテリー仕様)」の全国一斉発売を開始した。



■製品名・型式: かにクレーン MC285CB-3

■発売日: 2020年9月1日

■主な特長

- ①完全電動仕様によるゼロ・エミッションを可能とした
- ②リチウムイオンバッテリーを搭載し、軽量化・コンパクト化を実現
- ③短時間充電可能。最短約2時間20分で80%充電可能(AC200Vで充電時)
- ④充電しながら作業が可能
- ⑤動作速度は、MC285C-3(ディーゼル仕様)と同等
- ⑥軒下などへのリーチやガラス据付作業に活躍するサーチャーフック(オプション)を用意。

■仕様諸元

	MC285CB-3
クレーン容量	2.82t × 1.4m
最大作業半径	8,205m
最大地上揚程	8.7m
最大地下揚程	-10.1m(4本掛)
全長 × 全幅 × 全高	2,800mm × 750mm × 1,470mm
機械質量	1,995kg
遠隔制御装置	ラジコン標準装備
《バッテリー仕様》	
種類	リチウムイオン電池
入力電圧/電流	単相 AC200V/16A(標準) 単相 AC100V/14A
充電時間(AC200V) (AC100V)	80%: 2時間20分/100%: 3時間30分 80%: 5時間20分/100%: 7時間00分
連続運転可能時間	走行: 高速2時間15分
オプション	黒ゴムローラー 1本掛けフック 850kgサーチャーフック

■価格(希望小売価格): 13,700,000円(税抜)

DRONE FUNDがイスラエルのCivdroneに出資を決行

ドローンの建設・土木現場作業の効率化に貢献へ



DRONE FUND(本社:東京都渋谷区、代表:千葉 功太郎氏、大前創希氏、以下:ドローンファンド)は、Civdrone Ltd.(本社:イスラエル・テルアビブ、CEO:Tom Yeshurun、以下:シヴドローン)へ、DRONE FUND 2号(正式名称:千葉道場ドローン部2号投資事業有限責任組合)より出資を実行した。

【今回の投資について】

シヴドローンは、建設・土木現場におけるマーキング/杭打ち作業を代替することのできるドローン・ソリューションを開発している。正確なナビゲーション・ソフトウェアと機体を活用することにより、従来の方法に比べて5倍の生産性を達成。シヴドローンは、毎日数百から数千のマーキングを要する建設・土木事業を主要ターゲットに見据え、技術開発と営業を行っている。

シヴドローンのドローン・ソリューションは、GPSを用いることでアスファルトを含む建設・土木現場の地面に対し、1~2cmの精度でマーキング用の杭を打ち込むことができる。これらのマーキングプロセスの自動化によって、建設会社は生産性や品質の向上、現場での事故の減少、工期の大幅な短縮が可能となる。

現在、このワンストップでのサービスは、米国、ヨーロッパ、日本の顧客に導入が進んでおり、アジア圏でのさらなる成長も見込まれている。また、さらに多くの顧客価値を提供するべく、作業用ドローン・ソリューションとの連携も可能なシステムの開発も行っている。詳しくは、ドローンファンドが独自に実施したトムCEOへのインタビュー記事を参照。

https://dronefund.vc/feature/spotlight_vol04/

人手の足りない建設・土木現場の生産性と安全性をいかに高めていくことができるか、という観点から、ドローンファンドはシヴドローンへの投資を決定した。今後も「ドローン・エアモビリティ前提社会」の実現に向けて、ドローンの現場作業の効率化に貢献することのできるテクノロジー、ソリューションへの投資を加速していく。

■シヴドローン 概要

▽社名：Civdrone ltd.▽CEO：Tom Yeshurun
▽所在地：Tel Aviv, Israel▽設立：2018年▽
URL：<https://www.civdrone.com/>



■ドローンファンド 概要

ドローンファンドは、ドローン関連のスタートアップに特化したベンチャーキャピタルとして2017年6月に千葉功太郎氏により設立された。

現在、2号ファンドにおいては、「ドローン前提社会」と「エアモビリティ社会」の実現をテーマに、国内外での投資を行なっている。

▽略名称：DRONE FUND (ドローンファンド)▽正式名称：千葉道場ドローン部2号投資事業有限責任組合▽運営会社：DRONE FUND (株)▽代表者：千葉功太郎氏、大前創希氏▽所在地：東京都渋谷区恵比寿3-3-6 滝澤ビル3 F▽設立：2018年8月▽事業内容：ドローン、エアモビリティ関連への投資及び協業支援▽ウェブサイト：<http://dronefund.vc>

ICT活用工事セミナー「ホルナビ塾」を開講

コベルコ建機、ウェビナー全6種類、ほか

コベルコ建機(株) (東京本社：東京都品川区北品川5丁目5番15号<大崎ブライトコア5F>、社長：尾上善則氏、☎03-5789-2112) は、国が進める「i-Construction」の基礎知識やICT活用のポイントなどを講習可能なICT活用工事セミナー「ホルナビ塾」を、このほど開講した。

「ホルナビ塾」はオンラインによる「ウェビナー^{*1}」全6種類、会場に来てもらう「来場型」、全国6カ所のホルナビ・ジョブサイトでの実体験が可能な「ジョブサイト体験型」の3つの形態^{*2}で実施。

ウェビナーにおける講座数は全6種類で、インターネットからの申し込み(定員制)により無料で受講が可能。なお、本セミナーはCPDS^{*3}に対応しており、受講毎にCPDSを取得可能。

この「ホルナビ塾」を通して、受講者にICT

を活用した建設産業の技術とそのポイント、事例等を理解し、現場施工への活用や社内への技術取り込みなどの一助になればと考えている。

同社は、独自のICT施工(情報化施工)ブランド「ホルナビ^{*4}」を2016年に立ち上げて以来、商品ラインナップの拡充はもとより、ICT建機のメリットを体験・実感できる仮想現場、ホルナビ・ジョブサイトを国内6カ所に設置するなど、ユーザーのi-Constructionへの対応力向上に努めてきた。これからも「誰でも働ける現場」を目指し、ユーザーの要望に沿ったICT活用を提案していく。

※1「ウェビナー」とは、ウェブとセミナーを組み合わせた造語。

※2新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間は、全国どこからでも安心して参加可能なウェビナー(オンラインセミナー形式)での実施となる。

※3「CPDS」とは、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会(JCM)の継続学習制度で、認定された講習会を受講した場合、必要に応じて受講証明書を発行できるシステムであり、学習履歴は公共工事などにおける評価項目となる場合がある。同社セミナー受講による「CPDS」取得には一定の条件がある。詳細は以下URL参照。

(一社)全国土木施工管理技士会連合会ホームページ内「継続学習制度 CPDS」
<https://www.ejcm.or.jp/about-cpds/>

※4「ホルナビ」とは、「ホル(掘る)ナビゲーション」から付けた同社独自のICT施工ブランド。ユーザーが必要としていることを建設機械メーカーとしてのイノベーションにより解決へ導くと言う理念を表す。



<参考>

- ・ホルナビ ピックアップページ
<https://www.kobelco-kenki.co.jp/pickup/horunavi/>
- ・ホルナビ塾紹介ページ
<https://www.kobelco-kenki.co.jp/pickup/horunavi/seminar01/>

酒井重工、2021年3月期第4半期の連結業績

売上高45億6,000万円(前年同期比14.4%減)

酒井重工業(株)は、2021年3月期第1四半期の連結業績〔日本基準〕を下記のとおり公表した。

《当四半期決算に関する説明》

【経営成績に関する説明】

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における当企業グループを

取り囲む事業環境は、新型コロナウイルス感染拡大による地球規模の行動制約が続く中、世界的な社会経済活動の変容と世界経済の同時減速が急激に進んだ。また、このコロナ問題勃発を起点として、米中冷戦構造を軸とした地政学情勢が一層緊迫化するとともに、テクノロジー革命による産業構造変化のスピードが急加速した。

このような情勢の下で当企業グループでは、職場の安全環境整備と事業継続のためのDX(デジタルトランスフォーメーション)体制整

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日) (百万円未満切捨て)
(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,565	△14.4	36	△74.4	△52	—	△122	—
2020年3月期第1四半期	5,333	△15.7	143	△73.3	151	△69.5	112	△44.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 27百万円(—) 2020年3月期第1四半期 △23百万円(—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△28.49	—
2020年3月期第1四半期	26.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	34,527	21,732	62.8
2020年3月期	35,448	21,919	61.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 21,691百万円 2020年3月期 21,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	30.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

2021年3月期第2四半期末の配当予想については、本日(2020年8月7日)公表した「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」を参照。なお、2021年3月期期末配当金については、通期業績予想が算定可能となった後に公表予定。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,780	△19.2	170	△75.8	140	△78.0	40	△89.9	9.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

2021年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想の修正については、本日(2020年8月7日)公表致した「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」を参照。なお、2021年3月期の通期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による通期連結業績への影響を合理的に算定することが困難な為、現時点における公表は引き続き見送り、業績予想が可能となった段階に速やかに開示する。

備を進めるとともに、引き続き変化を大前提とした事業経営と、海外事業と次世代事業による中長期成長戦略を基本とした成長基盤づくりを進めてきた。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、世界経済同時減速の影響を受けて前年同期比14.4%減の45億6,000万円となった。営業利益は、前年同期比74.4%減の3,000万円、経常利益は、インドネシアルピアの一時的急落に伴う為替差損1億2,000万円の計上により5,000万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純利益は、単体の税負担が加わり1億2,000万円の損失となった。

【連結地域区分別売上高状況】

国内向け売上高は、5月25日の緊急事態解除宣言をもって公共土木工事が正常化し、前年同期比5.8%減の24億2,000万円と小幅な影響に留まった。海外向け売上高は、世界的な行動制約により経済活動が停止する中、前年同期比22.4%減の21億3,000万円となった。

北米向け売上高は、行動制限から経済活動が再開したものの、その回復の勢いは弱く、前年同期比52.3%減の7億4,000万円となった。

アジア向け売上高は、インドネシアで感染拡大による経済停滞が続く一方、ベトナムやタイ、韓国など感染収束の進んだ地域で経済活動が活発化し、前年同期比25.1%増の13億5,000万円となった。

中近東・ロシアCIS向け及びその他市場向け売上高は、営業活動が制約される中、両市場合算で前年同期比6割減の4,000万円となった。

【セグメントの業績】

(日本)

国内向け販売が底堅く推移したものの海外向連結地域区分別売上高表

け販売及び海外工場向け部品輸出が減少し、総売上高は前年同期比8.8%減の35億8,000万円と減収ながら、営業利益は販管費減と原価率改善により4,000万円の黒字に転換した。

(海外)

米国では、ジョージア州の屋内退避令による工場閉鎖と経済活動再開後の販売鈍化の影響で、総売上高は前年同期比52.5%減の7億4,000万円、営業利益は固定費削減を進めたものの4,000万円の損失となった。

インドネシアでは、政府の大規模社会的制限が発動される中、第三国向け輸出が増加に転じたものの国内販売の低迷が続き、総売上高は前年同期比20.0%増の8億6,000万円ながら、営業利益は前年同期比37.0%減の1,000万円となった。中国では、米国向け輸出を抑制する中で国内向け販売が伸び悩み、総売上高は前年同期比68.3%減の1億2,000万円、営業利益は2,000万円の損失となった。

《財政状態に関する説明》

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ9億2,000万円減少し、345億2,000万円となった。流動資産については、たな卸資産が2億円増加し、現金及び預金が11億3,000万円減少、受取手形及び売掛金が2億4,000万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ12億6,000万円減少し、223億2,000万円となった。固定資産については、投資有価証券が2億9,000万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億4,000万円増加し、122億円となった。

流動負債については、未払法人税等が2億1,000万円減少したこと等により、前連結会計

区 分	当第1四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年6月30日		前第1四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
国 内	百万円 2,427	% 53.2	百万円 2,577	% 48.3	百万円 △150	% △5.8
海 外	2,138	46.8	2,755	51.7	△617	△22.4
北 米	743	16.3	1,558	29.2	△814	△52.3
ア ジ ア	1,350	29.5	1,079	20.3	270	25.1
中近東・ロシアCIS	2	0.1	6	0.1	△3	△59.0
そ の 他	41	0.9	110	2.1	△68	△62.1
合 計	4,565	100.0	5,333	100.0	△767	△14.4

【セグメントの業績】

		当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	総売上高	百万円 3,589	百万円 3,933	百万円 △344	% △8.8
	営業利益	48	△47	95	—
米 国	総売上高	745	1,569	△823	△52.5
	営業利益	△40	94	△135	—
インドネシア	総売上高	863	719	143	20.0
	営業利益	15	23	△8	△37.0
中 国	総売上高	127	402	△274	△68.3
	営業利益	△21	27	△49	—
調整額	総売上高	△759	△1,291	531	—
	営業利益	35	44	△9	—
連 結	総売上高	4,565	5,333	△767	△14.4
	営業利益	36	143	△106	△74.4

年度末に比べ8億5,000万円減少し106億円となった。固定負債については、前連結会計年度末に比べ1億2,000万円増加し、21億9,000万円となった。純資産については、利益剰余金が3億3,000万円減少、その他有価証券評価差額金が2億円増加、為替換算調整勘定が5,000万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億8,000万円減少し、217億3,000万円となった。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.1ポイント増加し、62.8%となった。

《連結業績予想などの将来予測情報に関する説明》

今後については、新型コロナウイルス問題の長期化とともに新常態の行動様式が定着し、社会経済のデジタル化が本格的に進むものと予想している。国内市場では、土木工事の正常化と今年度公共投資予算を背景とした底堅い政府建設投資により安定した事業環境が続くものと期待される。海外市場では、中国や北米、アジアの一部の国々で経済活動が再開され、インフラ投資による経済対策も始まりつつあるが、未だに多くの国々がコロナ渦中にあり社会経済活動の停滞が続いている。更には感染再拡大リスクの高まりや、米中対立の伴う世界経済の分断など、海外情勢の先行きは見通しづらい状況にある。新たな技術面については、政府骨太方針で社会資本整備におけるデジタル化とスマート化の推進が表明され、建設産業のDX(デジタルトランスフォーメーション)が益々加速する見通し。

このような世界情勢の大転換期の中で当企業グループでは、新常態に向けたDX体制の整備、急激な需要変化への対応強化、米中対立に伴う米国事業と中国事業の収益構造改革、アジア市場深耕と北米市場展開、新技術活用による次世代事業の開発、活力ある企業文化づくりなど、変化対応と成長戦略を積極的に推し進め、新たな事業環境における成長基盤を固めていく。

コマツ、2020年9月1日付「人事異動」を実施

「新職」、「継続職」、「氏名」(6名)の紹介

■主要人事(2020年9月1日付)

新 職		継続職	氏 名
△建機マーケティング本部アフターマーケット事業本部GET・UC事業部担当部長	(コマツアンダーキャリッジインドネシア株式会社 VP, Director)		須崎 幸弘
△開発本部車両第二開発センター主幹技師	(開発本部車両第二開発センター企画管理グループGM(兼)チーム長)		野田 隆司
△開発本部車両第二開発センター企画管理グループGM(兼)チーム長	(コマツインドネシア株式会社Quality Assurance Director)		児玉 治
	(生産本部調達本部副本部長(兼)調達企画部担当部長(兼)改革室長(兼)鋼材・間接材調達部長)	生産本部調達本部副本部長(兼)調達企画部担当部長(兼)改革室長	西川 知良
△生産本部調達本部長付(兼)鋼材・間接材調達部長	小松(中国)投資有限公司生産調達本部副本部長		荒井 勝彦
△小松(中国)投資有限公司生産調達本部副本部長(兼)原価企画部長	小松(中国)投資有限公司生産調達本部SVC改善室購入品キャブ薄板担当部長		尾島 健一



自動車部品・建機部品の調達物流専門の OLS(Otomo Logistics Service)はお客様の SCMの為に質の高い支援をいたします



★中部～東北
★広島～関東
翌日納入可能!!
リードタイム1日

お知らせ

- 2020. 1 大友ロジスティクスサービス(株)に社名変更致しました
- 2020. 3 京都営業所 (新設移転)
※京都第2倉庫は旧京都営業所に移転致しました。
- 2020. 3 滋賀第2倉庫 (開設)



京都営業所
新規移転開設!!



大友ロジスティクスサービス株式会社

〒135-0046 東京都江東区牡丹1-14-1 KDX門前仲町ビル2階 TEL.03-5245-3001(代) FAX.03-5245-3005 <https://www.otomo-logi.co.jp/>

北 上 営 業 所	0197-44-5518	伊 勢 崎 営 業 所	0270-40-3030	相 模 原 営 業 所	042-764-8221	京 都 第 2 倉 庫	075-603-1270
台 仙 福 新 諏 真 小 古 群 太	022-344-1544	埼 玉 営 業 所	0493-57-0320	富 士 山 営 業 所	0545-65-0400	神 戸 第 2 倉 庫	078-998-1051
島 福 新 諏 真 小 古 群 太	024-372-0000	ひ たち な か 営 業 所	029-264-2026	小 松 橋 営 業 所	076-466-5331	岡 山 営 業 所	078-915-7007
新 諏 真 小 古 群 太	0258-24-2794	ひ たち な か 第 2 倉 庫	029-264-2026	小 豊 小 松 橋 営 業 所	0761-74-3780	岡 山 営 業 所	086-805-6220
訪 岡 山 小 古 群 太	0266-54-3550	土 浦 営 業 所	029-834-8250	安 小 松 橋 営 業 所	0532-31-0801	岡 山 営 業 所	0826-72-6901
岡 山 小 古 群 太	0285-82-7093	千 葉 営 業 所	043-286-2067	安 小 松 橋 第 2 倉 庫	0566-73-8117	岡 山 営 業 所	082-943-5590
小 古 群 太	0285-20-3255	千 葉 第 2 倉 庫	043-215-3160	滋 賀 第 2 倉 庫	0568-79-3020	福 岡 第 2 倉 庫	0949-52-3200
古 群 太	0296-30-2210	厚 木 営 業 所	046-295-4577	京 都 第 2 倉 庫	0749-49-5501	福 岡 第 2 倉 庫	
群 太	0276-60-9288	東 名 厚 木 営 業 所	046-280-4603	京 都 第 2 倉 庫	0749-32-9150		
太	0276-60-1170	相 模 原 愛 川 営 業 所	046-280-1260	京 都 第 2 倉 庫	075-320-5970		

日立建機、2021年3月期第1四半期の連結業績

売上収益1,701億5,700万円(前年同期比△27.5%)

日立建機(株)は、2021年3月期第1四半期の連結業績〔IFRS〕を公表した。

《当四半期決算に関する定性的情報》

【経営成績に関する説明】

当連結グループは、中期経営戦略の方向性と

して、これまで取り組んできたバリューチェーン事業をさらに強化させるため、デジタル技術を活用し、ユーザーとのあらゆる接点において深化したソリューションを提供するとともに、変化に強い企業体質への転換に取り組んでいる。

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)の売上収益は、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)の影響による市況悪化を受けた油圧ショベル需要の減少、

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日) (百万円未満四捨五入)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		調整後営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社株主に 帰属する 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	170,157	△27.5	2,940	△87.2	1,787	△91.7	1,194	△92.3	201	△98.5
2020年3月期第1四半期	234,696	△2.3	22,902	△17.0	21,626	△13.6	15,538	△15.1	13,646	△13.1

(重要) 当社は「営業利益」に代え、「調整後営業利益」を連結経営成績に関する指標として用いている。

「調整後営業利益=売上収益-売上原価-販売費及び一般管理費」により計算している。

	基本的1株当たり 親会社株主に帰属する 四半期利益	希薄化後1株当たり 親会社株主に帰属する 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.95	0.95
2020年3月期第1四半期	64.17	64.17

(参考) 持分法による投資損益 2021年3月期第1四半期 105百万円 2020年3月期第1四半期 713百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社株主持分	親会社株主 持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,155,878	529,407	476,273	41.2
2020年3月期	1,167,567	525,111	473,537	40.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	36.00	-	24.00	60.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	-	-

2021年3月期の中間・期末配当予想額は未定。

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後営業利益		税引前当期利益		親会社株主に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 親会社株主に帰属する 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770,000	△17.3	40,000	△47.8	34,000	△49.3	20,000	△51.4	94.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

ならびに、前年度と比較し円高基調で推移した為替の影響などにより、同社が注力するバリューチェーン事業のうちレンタル売上は前年同期比で増加となったものの、1,701億5,700万円(前年同期比△27.5%)と大幅な落ち込みとなった。

連結の利益項目については、売上収益の減少、為替の円高影響等により、調整後営業利益は29億4,000万円(同△87.2%)、親会社株主に帰属する四半期利益は2億0,100万円(同△98.5%)となった。

【各セグメントの業績】

①建設機械ビジネス

当第1四半期連結累計期間における油圧ショベル需要は、中国・日本を除く地域で前年同期を大幅に下回った。またマイニング機械の需要も鉱山会社による新規の設備投資が抑えられ、特に中小規模鉱山会社からの需要が大きく減少した。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、ダンプトラック・レンタル・中古

車は増加したものの、COVID-19の影響による市場の減速に伴う新車販売の減少や為替の円高影響等を受け、1,502億2,300万円(前年同期比△28.9%)となった。

この売上収益の減少に伴い、調整後営業利益は、9億6,300万円(同△95.4%)となった。

②ソリューションビジネス

当事業は、主としてマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品サービス事業を行うBradken社とサービスソリューションを提供するH-E Parts社で構成されている。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は、COVID-19の影響による需要減少や為替の円高影響があり前年同期比で減少はしたものの、マイニングを中心とする根強い保守サービス需要に支えられ、203億7,700万円(同△15.2%)となった。調整後営業利益は、事業構造改革の効果はあったものの、売上収益の減少や円高影響で、19億7,700万円(同△8.7%)となった。

【販売先地域別の売上収益】

(単位：百万円)

		前第1四半期 連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年6月30日		増減額 (B) - (A)	増減率 (B)/(A) - 1 (%)
		売上収益 (A)	構成比 (%)	売上収益 (B)	構成比 (%)		
米州	北米	47,135	20.1	27,908	16.4	△19,227	△40.8
	中南米	3,750	1.6	2,807	1.6	△943	△25.1
米州		50,885	21.7	30,715	18.1	△20,170	△39.6
欧州		28,231	12.0	13,548	8.0	△14,683	△52.0
ロシアCIS・アフリカ・中近東	ロシアCIS	10,060	4.3	4,311	2.5	△5,749	△57.1
	アフリカ	8,314	3.5	6,200	3.6	△2,114	△25.4
	中近東	1,714	0.7	3,339	2.0	1,625	94.8
ロシアCIS・アフリカ・中近東		20,088	8.6	13,850	8.1	△6,238	△31.1
アジア・大洋州	アジア	16,742	7.1	9,197	5.4	△7,545	△45.1
	インド	13,424	5.7	4,779	2.8	△8,645	△64.4
	オセアニア	37,975	16.2	33,086	19.4	△4,889	△12.9
アジア・大洋州		68,141	29.0	47,062	27.7	△21,079	△30.9
中国		26,475	11.3	25,050	14.7	△1,425	△5.4
小計		193,820	82.6	130,225	76.5	△63,595	△32.8
日本		40,876	17.4	39,932	23.5	△944	△2.3
合計		234,696	100.0	170,157	100.0	△64,539	△27.5

(百万円未満は四捨五入して表示)

なお、上記、①②の売上収益については、セグメント間調整前の数値。

【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

2021年3月期の油圧ショベル需要見通しは、今後もCOVID-19の影響に伴う市場の減速が続く、多くの地域で前年度の需要を大きく下回り、前回5月公表時の見通しの通り、世界全体で約16万6,000台(前年比△23%)となるものと現時点では想定している。

マイニング機械においても世界的な景気不透明感からユーザーの新規投資は抑制傾向が強まると予想され、新車需要は減少すると見ている。

一方で、鉱山の操業においては、一部地域では稼働停止となっている現場があるが、社会インフラを支える事業(Essential Business)として引き続き稼働中の国や地域もあり、同社の部品サービス事業やソリューションビジネスも、マイニング会社の機械・設備に関する保守サービス需要は根強くあると見ている。以上の市況予測を踏まえ、2021年3月期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)は、COVID-19の拡大に伴う需要減少の影響や、現時点でのその他さまざまな懸念材料を勘案し、2020年5月28日に公表した連結業績予想を据え置く。本業績見通しの前提となる第2四半期以降の為替レートについても、米ドル105円、ユーロ120円、人民元15.0円、豪ドル72円を据え置く。

【財政状態に関する説明】

①資産、負債及び資本の状況

【資産】

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、△3.2%、195億1,300万円減少し、5,932億6,600万円となった。これは主として棚卸資産が90億2,800万円、現金及び現金同等物が88億3,400万円増加したものの、営業債権が363億5,000万円減少したことによる。非流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1.4%、78億2,400万円増加し、5,626億1,200万円となった。これは主として有形固定資産が55億6,200万円増加したことによる。この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて、△1.0%、116億8,900万円減少し、1兆1,558億7,800万円となった。

【負債】

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、△0.5%、17億6,400万円減少し、3,696億0,200万円となった。これは主として社債及び借入金が

182億1,000万円増加したものの、営業債務及びその他の債務が208億5,100万円減少したことによる。非流動負債は、前連結会計年度末に比べて、△5.2%、142億2,100万円減少し、2,568億6,900万円となった。これは主として社債及び借入金が132億7,300万円減少したことによる。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、△2.5%、159億8,500万円減少し、6,264億7,100万円となった。

【資本】

資本合計は、前連結会計年度末に比べて、0.8%、42億9,600万円増加し、5,294億0,700万円となった。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は709億9,900万円となり、当連結会計年度期首より88億3,400万円増加した。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおり。

(営業活動に関するキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動に関するキャッシュ・フローは、四半期利益11億9,400万円をベースに、減価償却費109億7,500万円、売掛金、受取手形及び契約資産の減少398億2,000万円を計上する一方、買掛金及び支払手形の減少191億8,300万円、棚卸資産の増加28億1,500万円、法人所得税の支払22億1,400万円等の計上があった。この結果、当第1四半期連結累計期間は214億4,100万円の収入となり、前第1四半期連結累計期間に比べて収入が377億6,500万円増加した。

(投資活動に関するキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動に関するキャッシュ・フローは、主として、有形固定資産の取得82億5,700万円があったことで92億7,000万円の支出となり、前第1四半期連結累計期間と比べて17億3,400万円支出が減少した。

これにより、営業活動に関するキャッシュ・フローと、投資活動に関するキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは121億7,100万円の収入となった。

(財務活動に関するキャッシュ・フロー)

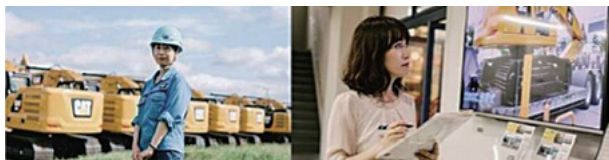
当第1四半期連結累計期間の財務活動に関するキャッシュ・フローは、主として、社債及び長期借入金の減少7億4,400万円、リース負債の返済35億8,600万円、配当金の支払(非支配

持分株主への配当金を含む) 5億5,200万円等があったことにより42億8,400万円の支出となり、前第1四半期連結累計期間と比べて223億0,900万円収入が減少した。

ダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを推進

Caterpillar、女性エンジニアの育成に注力

Caterpillarは、全世界でダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを進めており、特に女性エンジニアの育成に注力している。エンジニアリングとテクノロジーにおける女性活躍のための世界最大の推進団体であるSociety of Women Engineers と協力をしてイベントを行ったり、名誉ある表彰を受けるなど、継続的な取り組みを進めている。



日本においても、油圧ショベルの研究センターとマザー工場を有する明石事業所主導で、日本での操業55年を記念し、2018年より日本のイノベーションを牽引するリケジヨを応援する『兵庫・関西キャタピラーSTEM賞』を、女性研究者・開発者・学生を対象に、兵庫県、神戸市、関西JETRO、土木学会関西支部とともに創設した。2019年には、理系を志す女性のすそ野を広げるべく、高校生、高等専門学校生、大学生を対象にした学生部門も始めた。今年度も一般部門、学生部門ともに、6月より応募を受け付けている。



第二回受賞者の服部さん・西垣さんとみなさま、駐大阪・神戸米
国総領事のKaren Kelley氏



第一回受賞者の丸山さん

また、子供たちの製造業、ものづくりへの関心を高めるために、イリノイ州ピオリアにあるCaterpillar Visitor Centerにて、建設機械や鉱山関係で利用する機械の発展の歴史や世界的な広がり、実際の運転を体験するコーナーなどを用意している。来館前の事前の学習のためのテキストも各種用意している。(日本語でも一部

紹介している)

今年は、COVID-19の影響もあり臨時休館をしているが、仮想のツアーを用意するなど、在宅でも楽しめるコンテンツを増やしている。今年から、日本においても、小型製品の設計センターのある横浜を中心に、キャタピラーのブランドメッセージであるLet's do the work「現場で働く人々を応援する」という理念を踏まえ、小中学生を対象に、現場を支える未来の建設機械をデザインする絵画コンテストを開催することにした。

トピー工業、SQEP最高位認証を8年連続で取得

米国キャタピラー社から、2部門で評価

トピー工業(株)(本社：東京都品川区 社長：高松信彦氏)は、米国キャタピラー社の2019年SQEP※(取引先最適品質体制)において、鉱山機械用ホイールのサプライヤーとして、8年連続となる最高位プラチナ認証を取得した。

また、建設機械用足回り部品サプライヤーとしてもプラチナ認証を取得し、2部門で最高位に評価された。

SQEPは毎年キャタピラー社が独自の基準によりサプライヤーを認証する制度で、さまざまな要求項目を総合的に評価する。プラチナを最高位としてゴールド、シルバー、ブロンズの4段階レベルがあり、明確な認証基準が定められている。

今回の認証は、品質・生産・納期等の要求項目において高評価を獲得した結果、2012年より8年連続でのプラチナ認証取得となった。

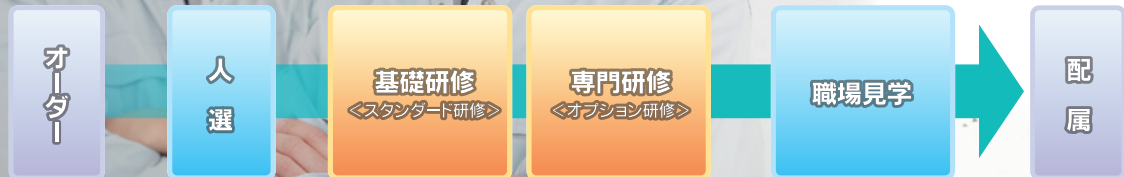
8,000社を超えるサプライヤーの中で、8年以上連続してプラチナ認証を取得したのは、同社を含めわずか3社と極めて少数であり、荣誉ある認証取得と考えている。

同社は、ユーザーからのさらなる信頼向上を図るため、今後も継続的な改善活動を推進し総合力をより一層高めていく。



■鉱山機械用ホイールのサプライヤー認証盾

人材不足! 整備サービススタッフは派遣で解決!



御社ニーズに沿った基礎力のある人材を提案いたします!

御社に貢献できる人材として、求められる人材像に沿った教育を施します。そのため主に製造経験のある人材に対して素養をも極め、集中研修にて能力を高めた上で人材を案内いたします。また研修の知識だけでは通用しないという点も踏まえ、配属後もスタッフのキャリアアップフォローを継続します。

■ 整備サービススタッフに求める人材像調査

- 1位 取り組み姿勢が優れている。
- 2位 学習方法が優れ資格がある。
- 3位 経験・体験がある。
- 4位 学習している内容が豊富である。
- 5位 ヒューマンスキルが優秀である。

■ 弊社が求め育成する人材の素養

- プロセスに対する興味、改善意欲、心身ともにタフ。
- 自己啓発力、技能(技術・技能)向上意欲。
- 対処力、応用力、異常値統計の解析力。
- 工学系(電気・機械・制御)の専門知識・能力。
- 協調性、綿密な連携力、コミュニケーション力。



専門技能研修は少数制による短期集中カリキュラムで育成中!

基礎研修
スタンダード研修

機械系研修カリキュラム

機械図面	軸受
● 図面の見方・はめあい測定器の使い方	● 軸受・キー種類・名称・用語各種調整方法
締結装置	潤滑
● 機械材料・ドリル・タップ・ヘリサート	● 潤滑・総合駆動装置Vベルトたわみ軸継手
● ボルト・ナット・工作機械	油・空圧制御装置
伝動装置	● 油圧
● チェーン・軸継手	● 空圧シール
● Vベルト・タイミングベルト	● トラブルシュート
● 歯車	空圧制御
● 歯車の種類・名称と用語・調整方法	● 空圧・真空機器の構成と知識

電気系研修カリキュラム

電気一般	電気制御
● マイクロソルダリング	● リレー回路配線実習・導通確認
● 電気基礎	● シーケンス制御全体構成と動作・内部構成とメモリ入出力部
● 電気回路	● モータ制御
● 電気理論	
● センサ技術	

専門研修 オプション研修

- エレクトロニクス設計
- メカトロニクス設計
- 保全作業実技
- 自動制御設計



日研の研修修了者が整備サービススタッフで選ばれる理由!

- 業界唯一の研修施設と教育内容
- 選抜して教育! 厳しい研修を修了できた人材のみを派遣
- 抵触日にとらわれない無期雇用で派遣が可能
- 配属計画が立てられる! (入社まで最短で2週間)

設立 1981年4月1日
 資本金 5,000万円
 事業内容 業務請負事業/人材派遣事業/人材紹介事業
 労働者派遣事業許可番号 派13-060060
 有料職業紹介事業許可番号 13-エ-060049
 全国拠点数 165箇所(2020年4月現在)
 本社 〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-23-3 日研第一ビル
 TEL : 03-5711-6400(大代表) FAX : 03-5711-6412(代表)



お問い合わせ・ご相談はこちら
 月～金曜日/9:00～17:30
TEL 0120-571-380
https://www.nikken-totalsourcing.jp/contact_company/form.html



日研トータルソーシング株式会社

◆ 2020年6月〈建設機械〉生産実績 ◆

No.1

～当月の建機合計生産金額は、1,515億3,700万円(前年同月比21.2%減)～

			生産実績								
			2020年6月		対前年同月増減率(%)		2020年累計(20/1～20/6)		2020年度累計(20/4～20/6)		
			台数	金額(百万円)	台数	金額(百万円)	台数	金額(百万円)	台数	金額(百万円)	
土木建設機械・ 鉱山機械・ 破碎機	建設用 クレーン	トラック・ラフテ レーンクレーン	183	7,530	△ 30.9	△ 30.8	1,174	48,541	548	22,691	
		クローラクレーン	56	6,503	△ 17.6	7.2	313	34,035	139	15,557	
	掘削 機械	ミニショベル(0.2㎡未満)	8,135	24,902	△ 19.0	△ 15.0	51,883	157,473	22,456	67,786	
		油圧ショベル(0.2㎡以上)	(0.2～0.6㎡)	5,932	64,756	△ 24.2	△ 27.9	34,649	368,877	14,380	154,328
			(0.6㎡以上)	3,820	27,993	△ 19.8	△ 16.2	22,475	161,732	9,137	66,105
			トンネル掘進機	2,112	36,763	△ 31.1	△ 34.8	12,174	207,145	5,243	88,223
	整地 機械	ローラ	11	1,635	22.2	16.2	45	4,802	23	2,302	
		平板式締固め機械	ローラ	240	637	△ 27.5	△ 38.6	1,985	5,480	768	2,199
			平板式締固め機械	4,145	1,194	8.0	15.6	25,788	7,307	11,648	3,265
		アスファルト舗装機械	54	1,422	1.9	37.4	245	7,429	122	3,033	
		コンクリート機械	7,938	1,265	14.5	△ 36.3	43,572	9,380	23,607	4,101	
		基礎工用機械 (ベースマシンを除く)	92	1,438	△ 11.5	△ 24.9	608	12,354	287	5,150	
		破碎解体機	281	576	△ 11.6	△ 35.0	1,778	3,649	828	1,861	
		鉱山機械 (せん孔機・さく岩機)	495	1,004	△ 64.6	△ 27.5	6,363	6,155	2,047	2,545	
破碎機	19	405	18.8	27.8	135	2,989	66	1,519			
小計(A)			27,581	113,267	△ 11.6	△ 22.9	168,538	668,471	76,919	286,337	
その他建設機械・ 関連機種	水中ポンプ 汚水 土木用		33,881	1,758	△ 16.0	1.9	208,333	10,694	97,676	4,747	
	圧縮 機	往復式	可搬形	18,964	600	15.9	△ 9.9	101,361	3,761	49,752	1,688
			定置形	731	915	△ 19.4	△ 29.4	4,892	8,542	2,237	4,071
		回転式	可搬形	1,378	1,059	△ 15.4	△ 48.0	7,722	8,813	3,837	3,809
			定置形	1,282	2,215	△ 25.4	△ 17.4	7,954	15,294	3,379	6,723
	フォークリフト	蓄電池式	5,169	10,254	△ 8.1	△ 9.3	31,957	63,385	15,313	30,341	
		内燃機関式	3,699	8,012	△ 23.4	△ 21.5	25,959	56,259	11,532	24,798	
	ショベルトラック		671	5,353	△ 27.7	△ 15.3	3,528	31,032	1,786	14,603	
	ジブクレーン		36	1,285	12.5	29.8	149	7,094	90	4,260	
	車両搭載形クレーン		1,070	1,365	△ 13.7	△ 15.4	6,535	8,309	2,961	3,800	
	ベルトコンベヤ		5,077	1,536	△ 7.7	△ 11.0	36,900	13,442	14,977	5,814	
	エン ジ ン 発 電 機	3kVA以下	15,516	321	25.5	191.8	70,835	1,636	36,317	830	
		3～10kVA以下	4,549	604	△ 32.7	△ 25.2	24,922	3,089	12,136	1,546	
		10～200kVA以下	2,386	2,197	△ 3.6	△ 10.8	15,183	14,967	7,206	6,864	
200kVA以上		210	795	△ 31.6	△ 36.5	1,322	4,696	614	2,195		
小計(B)			94,619	38,270	△ 6.3	△ 15.3	547,552	251,014	259,813	116,088	
合計(A+B)			122,200	151,537	△ 7.6	△ 21.2	716,090	919,485	336,732	402,425	

出典：経済産業省「生産動態統計調査」

*各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているものがあるため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

◆ 2020年6月 〈建設機械〉販売実績・在庫実績 ◆

No.2

～当月の建機合計販売金額は1,395億6,400万円（前年同月比23.9%減）～

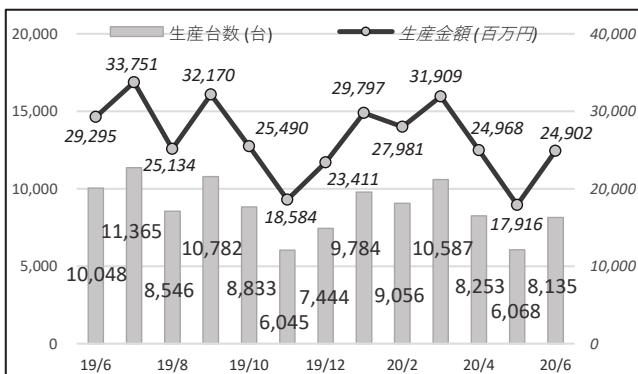
		販売実績								在庫実績 2020年6月 台数		
		2020年6月		対前年同月増減率(%)		2020年累計(20/1～20/6)		2020年度累計(20/4～20/6)				
		台数	金額(百万円)	台数	金額(百万円)	台数	金額(百万円)	台数	金額(百万円)			
土木建設機械・ 鉱山機械・ 整地機械・ 破碎機	建設用クレーン	トラック・ラフテ レーンクレーン	153	5,543	△ 35.4	△ 45.3	1,273	51,357	429	16,069	814	
		クローラクレーン	53	6,554	△ 25.4	△ 4.5	294	31,790	116	12,095	106	
	掘削機械	ミニショベル(0.2㎡未満)	8,760	27,883	△ 13.2	△ 11.9	52,168	167,076	22,831	73,163	4,826	
		油圧ショベル(0.2㎡以上)	5,645	58,338	△ 21.5	△ 33.0	34,224	366,924	14,302	149,720	2,693	
		(0.2～0.6㎡)	3,640	25,779	△ 14.2	△ 14.6	22,030	157,007	9,094	65,099	1,710	
		(0.6㎡以上)	2,005	32,559	△ 32.1	△ 42.8	12,194	209,917	5,208	84,621	983	
		トンネル掘進機	11	1,635	22.2	16.2	45	4,802	23	2,302	0	
	整地機械	ローラ	310	972	△ 13.6	△ 3.9	2,150	5,849	900	2,550	742	
		平板式締固め機械	4,572	1,457	9.1	13.7	27,155	8,479	12,020	3,739	7,373	
	破碎機	アスファルト舗装機械	51	1,395	△ 5.6	29.0	247	7,590	125	3,148	24	
		コンクリート機械	7,764	1,332	16.3	△ 39.5	42,551	9,731	22,930	4,040	10,412	
		基礎工専用機械 (ベースマシンを除く)	91	2,045	△ 16.5	△ 22.1	611	16,715	275	6,836	87	
		破碎解体機	281	576	△ 11.6	△ 35.5	1,778	3,664	828	1,870	3	
小計(A)			27,691	107,730	△ 5.5	△ 26.3	162,496	673,977	74,779	275,532	27,080	
その他建設機械・ 関連機種	水中ポンプ 汚水 土木用		62,761	2,630	△ 17.1	△ 7.3	390,292	16,442	199,634	7,469	148,739	
	圧縮機	往復式	可搬形	19,380	672	6.1	△ 9.9	99,769	3,770	49,513	1,814	12,970
			定置形	778	913	△ 21.8	△ 30.6	4,948	8,554	2,402	4,020	292
		回転式	可搬形	1,601	1,384	7.6	△ 21.7	8,080	9,063	3,904	3,670	1,311
			定置形	1,359	2,290	△ 19.6	△ 18.2	8,233	15,654	3,421	6,766	1,088
	フォークリフト	蓄電池式	5,300	10,489	△ 6.8	△ 8.2	32,019	63,562	15,357	30,437	857	
		内燃機関式	3,991	8,687	△ 19.3	△ 18.2	25,971	56,299	11,631	25,091	1,001	
	ショベルトラック		642	4,769	△ 15.4	△ 17.2	3,650	30,421	1,604	13,063	376	
	小計(B)			95,812	31,834	△ 12.5	△ 14.6	572,962	203,764	287,466	92,330	166,634
	合計(A+B)			123,503	139,564	△ 11.0	△ 23.9	735,458	877,741	362,245	367,862	193,714

* 出荷実績については、販売実績（販売台数及び販売金額）を掲載。

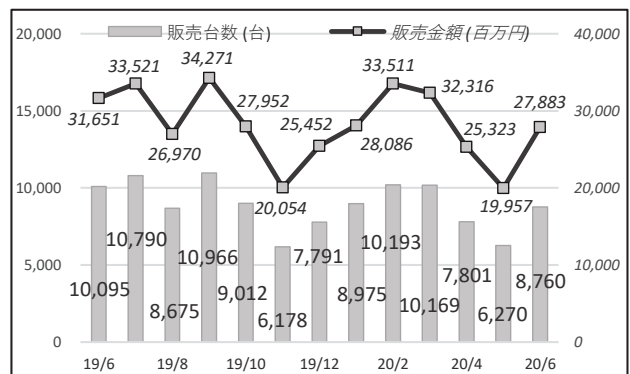
なお、各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているものがあるため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

〈建設機械〉生産台数・生産金額／販売台数・販売金額推移（月次）

ミニショベル 生産台数及び生産金額の推移



ミニショベル 販売台数及び販売金額の推移

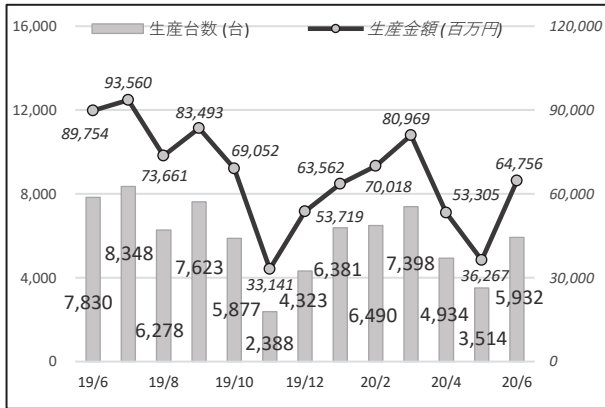


出典：経済産業省「生産動態統計調査」

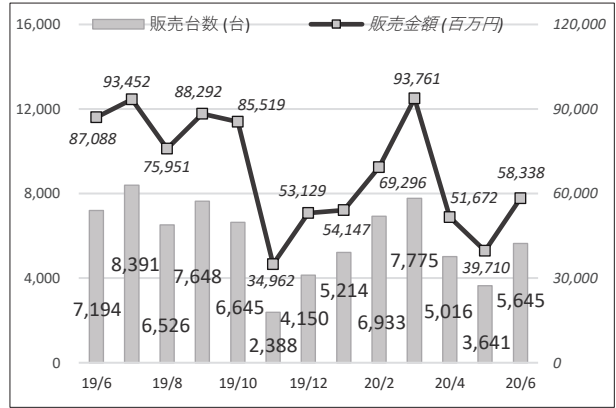
〈建設機械〉 生産台数・生産金額／販売台数・販売金額推移(月次)

No.3

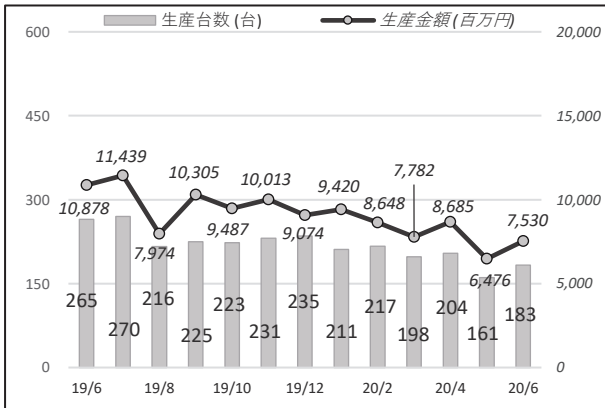
油圧ショベル 生産台数及び生産金額の推移



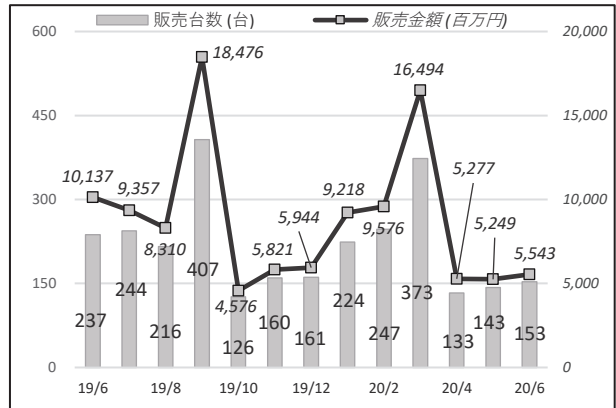
油圧ショベル 販売台数及び販売金額の推移



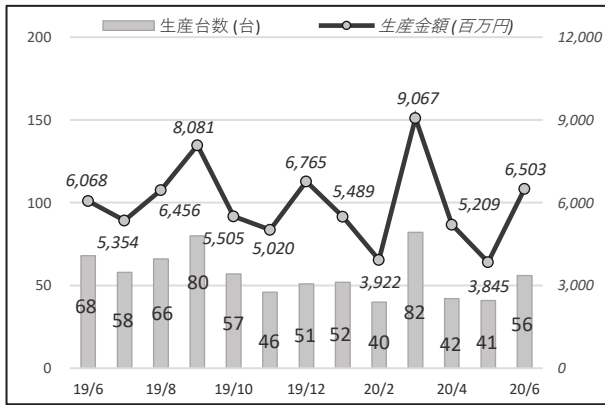
クレーン(トラック/ラフテレーン) 生産台数及び生産金額の推移



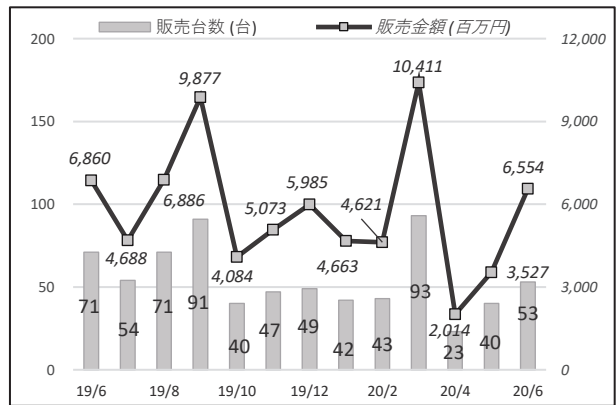
クレーン(トラック/ラフテレーン) 販売台数及び販売金額の推移



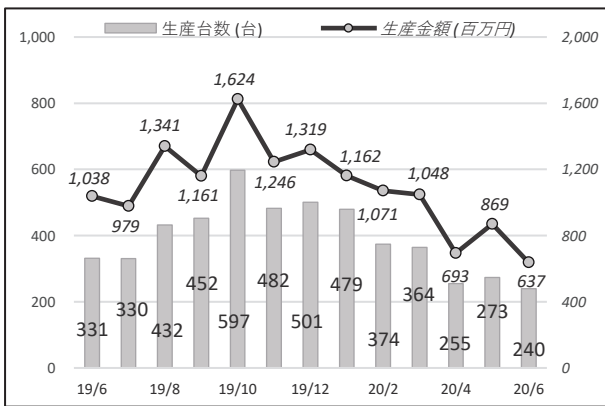
クローラクレーン 生産台数及び生産金額の推移



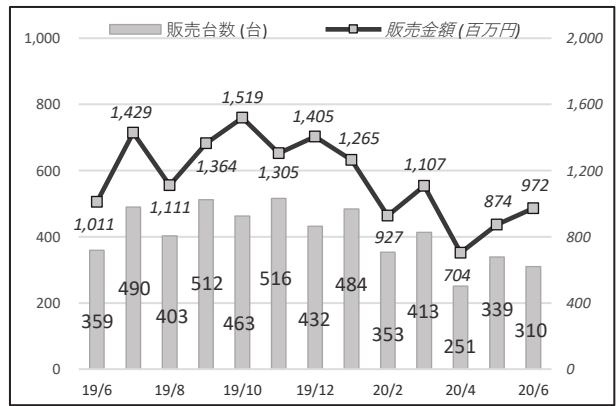
クローラクレーン 販売台数及び販売金額の推移



ローラ 生産台数及び生産金額の推移



ローラ 販売台数及び販売金額の推移

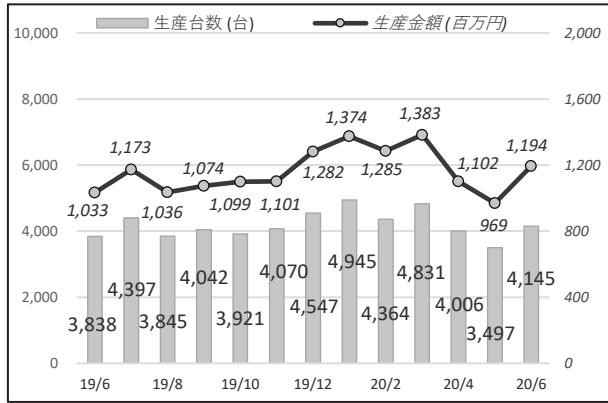


出典：経済産業省「生産動態統計調査」

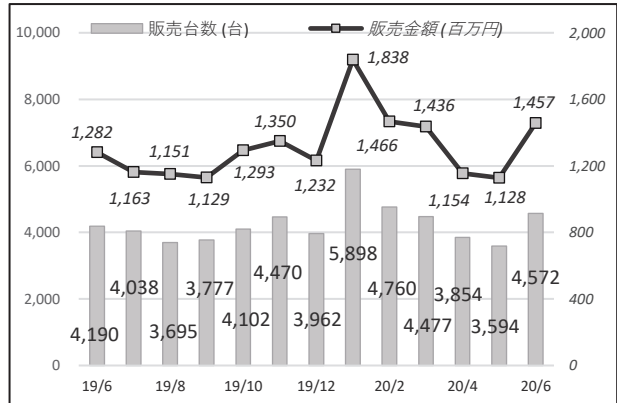
〈建設機械〉生産台数・生産金額／販売台数・販売金額推移(月次)

No.4

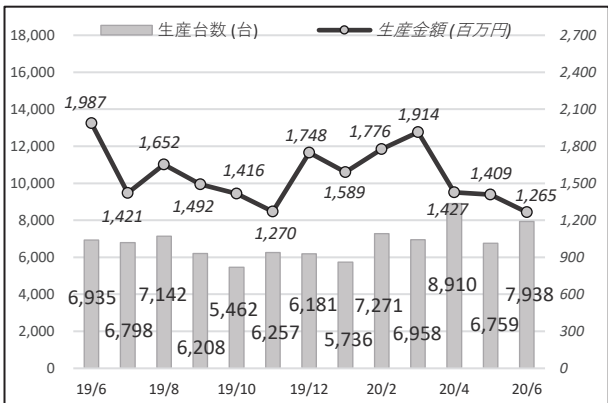
平板式締固め機械 生産台数及び生産金額の推移



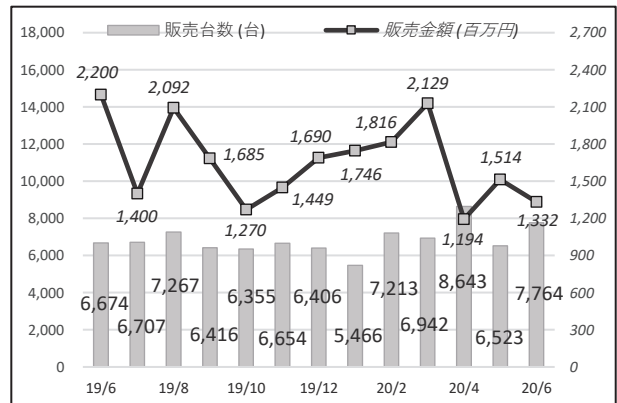
平板式締固め機械 販売台数及び販売金額の推移



コンクリート機械 生産台数及び生産金額の推移



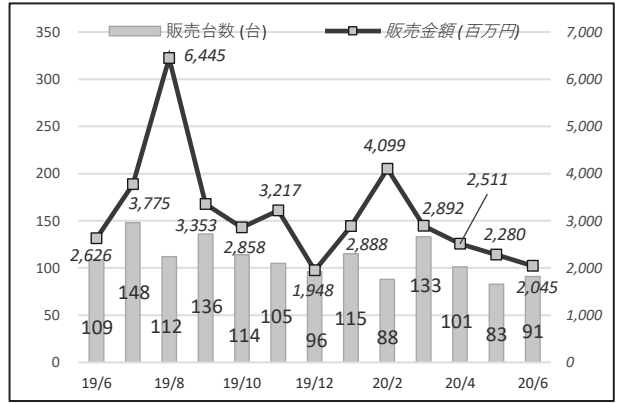
コンクリート機械 販売台数及び販売金額の推移



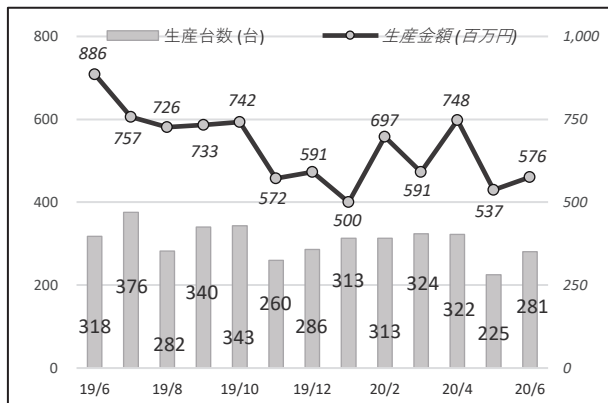
基礎工事中用機械(ベースマシンを除く) 生産台数及び生産金額の推移



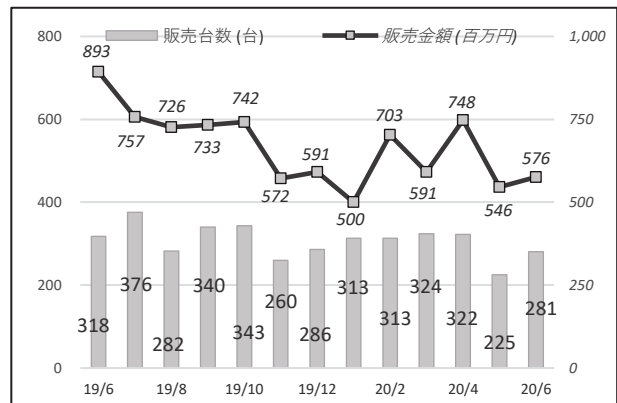
基礎工事中用機械(ベースマシンを除く) 販売台数及び販売金額の推移



破碎解体機 生産台数及び生産金額の推移



破碎解体機 販売台数及び販売金額の推移

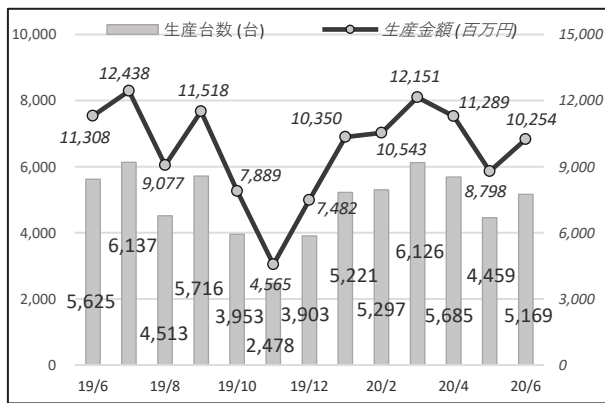


出典：経済産業省「生産動態統計調査」

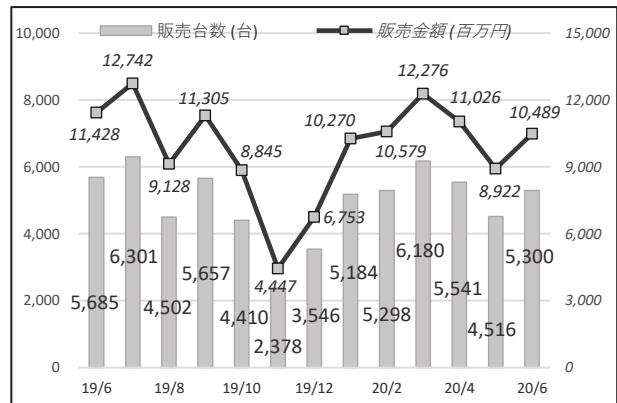
〈建設機械〉 生産台数・生産金額／販売台数・販売金額推移(月次)

No.5

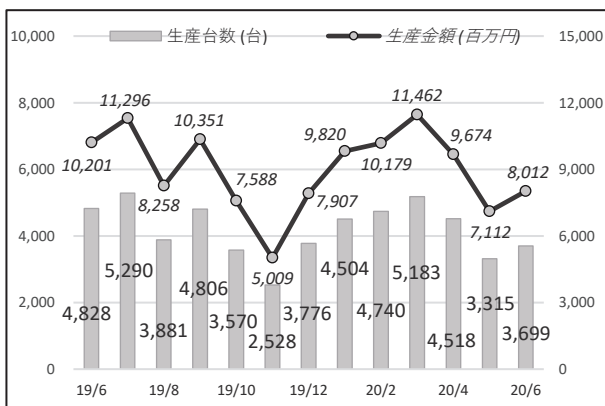
フォークリフト(蓄電池式) 生産台数及び生産金額の推移



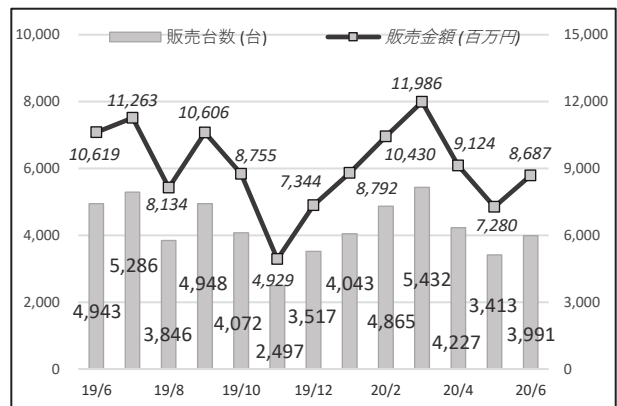
フォークリフト(蓄電池式) 販売台数及び販売金額の推移



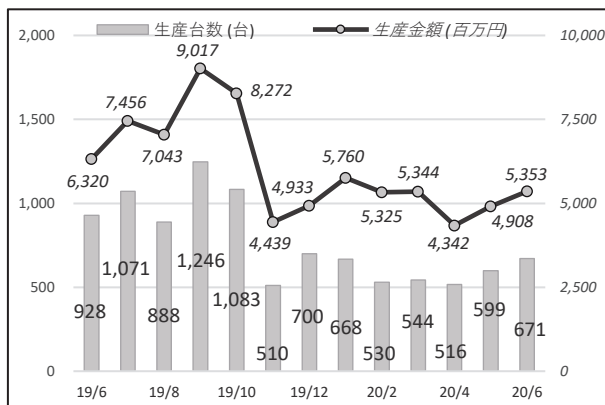
フォークリフト(内燃機関式) 生産台数及び生産金額の推移



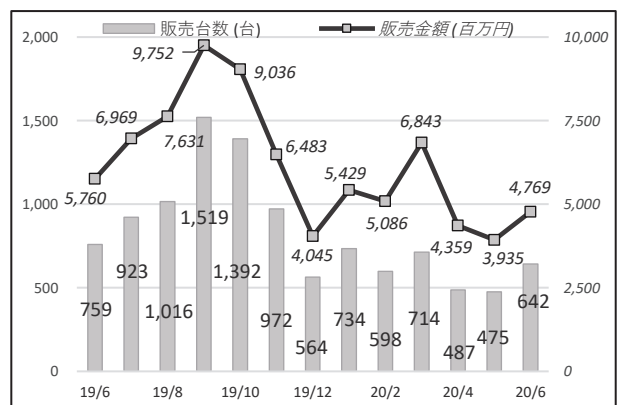
フォークリフト(内燃機関式) 販売台数及び販売金額の推移



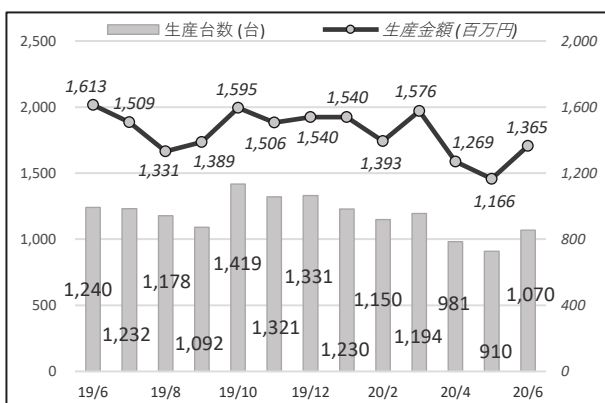
ショベルトラック 生産台数及び生産金額の推移



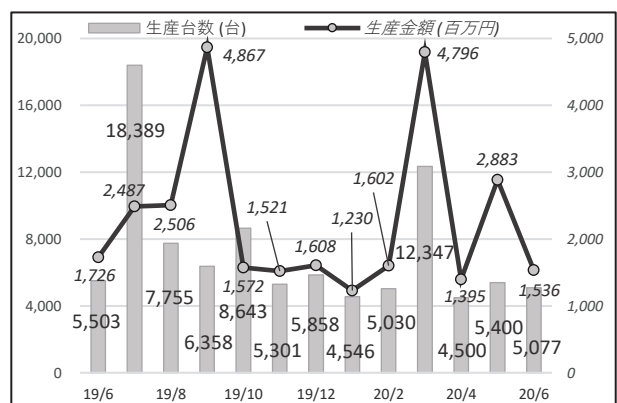
ショベルトラック 販売台数及び販売金額の推移



車両搭載形クレーン 生産台数及び生産金額の推移



ベルトコンベヤ 生産台数及び生産金額の推移



出典：経済産業省「生産動態統計調査」



中古建設機械を世界に繋ぐ。世界で繋ぐ。 購入と売却のグローバルプラットフォーム



中古建機、買うのも売るのもグロースパワー



<購入用サイト>



<売却用(査定買取)サイト>

※スマートフォンのカメラでQRコードを読み取るとサイトが閲覧可能です。

<査定買取対応機械>

油圧ショベル(ユンボ)、ミニショベル、ホイールローダー、ブルドーザー、グレーダー、
フィニッシャー、クレーン、高所作業車、ローラー、アタッチメント各種、ダンプ、特殊車輛、
フォークリフト、発電機、農機全般、工作機械全般、その他(故障車・不動車・全焼車買取大歓迎)

0120-954-512

中古建機の購入・売却時はお気軽にお電話ください

株式会社GROWTH POWER

東京都江戸川区西葛西5-2-3 NEXTAGE西葛西5F

info@growthpower.co.jp



For Earth, For Life
Kubota

必要なものをこの1台に。

現場で求められる機能はそれぞれ違う。「思い通りに」「もっと深く」「1台2役」「吊り上げて運ぶ」
現場が機械に多くを求めるなら、多くに応えるU-30へ。基本性能を高め、オプションを充実させて新登場。



NEW クボタミニバックホー
U-30-6α
U-35-6α

※写真はオプションを装着しています。

株式会社クボタ建機ジャパン 本社 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東 1-2-47 TEL 06(6648)2120

株式会社クボタ 建設機械営業部 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東 1-2-47

<http://www.kubotakenki.co.jp>

